

新しい分野で古い商売を。

～お客様の声から生まれた『マイぼしえっと』～

大容量メールを送りたい人が増えている

ある時、お客様サポート担当から次のような報告がありました。

「大容量のファイルをメールで送りたい人が増えています。」

私は、当社のメール容量を大きくすればいいのではないかと聞きました。

「いえ、そうではありません。当社の送受信容量が大きくても、相手先プロバイダーが1通5MBまでしか受信できないと規制していたりします。」

同様の問い合わせが多いのか聞くと、最近目に見えて増えている、とのことでした。

デザイン会社などがデータを取引先に送りたいというニーズがあるとのことでした。

大容量化の中で、置き去りにされたメール

PCのハードディスクもいまや100GBは当たり前、通信速度も10MBや20MBのデータダウンロードは難しくこなせるようになりました。

また、デジタルカメラの高画素化にとともに、データの大容量化もすすみました。

このような大容量化の中で、ひとつだけ大容量化していないものがあります。

それはメールです。

あまりに大きなメールはメールサーバーの負担になるという技術的な理由と、ブロードバンドのお客様でも、外出先ではモバイルなど通信速度の遅い状況でメールを受信する場合があるというお客様側の事情も考えると、メールボックスを巨大にすることは得策ではないのです。

『マイぼしえっと』

そこで考えられたのが、10月1日からサービスインする、『マイぼしえっと』サービスです。

詳しくは10月1日に発表致しますが、1GBまでのデータを3日間だけお預かりする、会員向け無料サービスです。

他社サービスとの違いは、下記の通りです。

- ・1GBという大容量
- ・無料サービス
- ・専用ソフト不要
- ・3日間だけ保存

最後の「3日間だけ保存」は一般的にはデメリットとされるでしょう。

逆に私は、これもメリットであると考えています。

そもそも、インターネットにデータを“安全”に保存するのは難しいことです。

いつハッキングされるかも知れません。

3日間で自動で消えてくれれば、重要なデータが流出する危険が減ります。

また、恒久的に保存するとなると、不法データやアダルトデータのアップロード場所とされてしまう危険がありますが、3日間だけであればそういった当社側の危険性も減らすことができます。

新しい分野で古い商売を

今回の、『マイぼしえっと』は、そのサービスが大容量でかつ無料であり、一時保管であるということで画期的なサービスです。

また、『えらべるメール』は、ギネス申請を準備しています。

このように、インターリンク社は、新しい分野に果敢に取り組んでいきたいと考えています。

さて、この『マイぼしえっと』は、お客様の声からできたサービスです。

お客様第一、お客様を大切にすること、お客様の声を聞く、こういった古くからある商売のやりかたで、新しい分野に取り組んでいきたいと思えます。

昨今は、ビジネスモデルという言葉がもてはやされますが、要はどのような商売をするか、ということで、「新しい分野で古い商売をする」が、私たちの商売のやりかた = ビジネスモデルです。